



題字 井口 文章
再刊 第444号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2024

みんなで作る
錦城高校新聞

# 青春の最終ページを刻む

## ～ご卒業おめでとうございます～

3月14日(木)に第一体育館で59回生の卒業会が開催された。今号では、高校生活での青春の最終ページに刻まれた思い出の数々を紙面を通して振り返る。

(編集部共同取材)

一部 59回生の卒業を祝う会である卒業会は、部員数スカスカのパラダイスオーケストラによる演奏で幕を開けた。開会式では、錦城の女子生徒の制服で女装をした前生徒会長の高梨恭一さん(3D)が登場



三年間の集大成を飾る演奏

し、雰囲気盛り上げた。クラス発表のトップバッターを務めた3Gは、「Gather Together」という題で、THE SUPER HEROES「可愛くてごめん」、YOSOB「アイドル」のメロディーでダンスを披露。観客からは拍手や応援の声があがった。次に続いたのは5人組バンドのドーパミント!による東京事変「Bon Voyage」の演奏。会場に響き渡る息の合った演奏を、ペンライトを揺らしながら楽しむ生徒の姿が多く見られた。



先生と一緒に、ダンス

### 私たちの錦城を紹介!

進路内定者講習に参加した3年生の作成した学校紹介動画が現在、錦城高校HPにて公開されている。今回は、2作目の「錦城でゴチになります!」から、松塚優真さん(3A)に話を聞いた。動画の作成に際して「面白いものを作ろう」と思ったとき、最初に思い浮かんだのが「ゴチ」だったという。制作過程で大変だったことは「メニューを決めることで



錦城高校 HP から

「す」と話す松塚さん。錦城スペシャルはもちろん、自身の思い出にも深く残っている錦城を選んでほしいと思います。3年生の動画制作について担当の田代直之先生による、元々、3年前から学校案内パンフレットを制作するという構想があったそう、今年度は生徒にとってより身近に近づけたYOUTUBEなどに代表される動画に切り替えて制作したという。田代先生は、「宣伝という縛りの中で

塚さんにメッセージを聞いた。錦城は上下関係なく仲の良い高校なので、それが続いてほしいと思います。今回の制作はプロジェクトの企画から発表まで9時間で行ったそうで、田代先生は「9時間という時間は1学期あたりの探究の授業時数に相当すると思うので、探求の時間を通して小平のPR動画を作ってみるのも面白いかもしれませんね」と来年度以降の取り組みについて語った。

制作したことはとても貴重な経験になったと思います」と活動を振り返った。今回の制作はプロジェクトの企画から発表まで9時間で行ったそうで、田代先生は「9時間という時間は1学期あたりの探究の授業時数に相当すると思うので、探求の時間を通して小平のPR動画を作ってみるのも面白いかもしれませんね」と来年度以降の取り組みについて語った。

によるパフォーマンズ。RAD WIMPSの『正解』のカバーを披露し、美しいピアノの音色と歌声を会場に響かせた。最後は「せーの」の合図で鑑賞していた生徒も歌い、大合唱

「君のいのち、明日からの日々を、僕らは、生きていく。」

「君のいのち、明日からの日々を、僕らは、生きていく。」

「君のいのち、明日からの日々を、僕らは、生きていく。」

「君のいのち、明日からの日々を、僕らは、生きていく。」

三部 第三部は3Aの『みんながクイズ』からスタート。生徒たちで作った錦城の先生方にまつわるクイズに59回生が挑戦した。クイズの形式は、幼少期の写真やプライベートの写真を、学生時代の部活動などのヒントから、どの先生について問題かを答えるというもの。解答がモニターに移されると、会場は驚きや笑い声で盛り上がりを見せた。次は、よーいはじめの2人

続いている3Kによるダンスパフォーマンス『こうさくさん』という、舞台上のモニターにオリジナル動画が流れて会場の期待も高まる中、体育館後方でK組担任の田中耕作先生がセンターに立ち、全員がリズムに合わせてダンスを踊る。ノリノリでポーズを決める3Kの生徒と先生に、会場は歓声と笑い声で溢れた。

「これはクッパに捕まったピーチ姫をマリオ、ルイージ、キノピオが錦城高校の校舎内でコインを集めて助けようとする」

「これはクッパに捕まったピーチ姫をマリオ、ルイージ、キノピオが錦城高校の校舎内でコインを集めて助けようとする」

「これはクッパに捕まったピーチ姫をマリオ、ルイージ、キノピオが錦城高校の校舎内でコインを集めて助けようとする」

## 旅立ちを迎える59回生へ

## 3年間の活動を終えて

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ

旅立ちを迎える59回生へ



懸命に障害物に挑む

第2部は3Bによる競馬で幕を開けた。3学年の各クラスの代表や先生方も参加した競馬は6人のリレー形式で、

よるじゃんけんの結果、G組が優勝となった。次に行われたのは3日によるハモリ我慢ゲーム。テレビ番組「バナナサンド」で行われている人気のコーナーで、曲のサビに入るとコーラスがハモリのみになり、それにつられず歌い続けることができるかというものだ。1人目の挑戦者は村原友里恵先生で「青春さんの『ハナミズキ』で挑戦した。また、2人目の挑戦者はSMAの『世界で一つの涙』を披露した。3組目はAPPLE AUDによるAdoの『唱』をカバーしたソロステージ。アツペンポナ曲調に合わせて、観客も拍手で応援を送る。見事に1人で最後まで歌い切った後は、会場に大きな拍手と歓声が響き渡った。

「観客も拍手で応援を送る。見事に1人で最後まで歌い切った後は、会場に大きな拍手と歓声が響き渡った。」

「観客も拍手で応援を送る。見事に1人で最後まで歌い切った後は、会場に大きな拍手と歓声が響き渡った。」

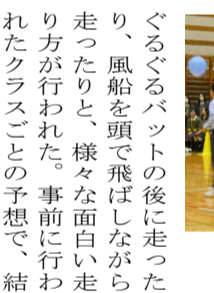
思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を



卒業会への想いを語る

卒業会への想いを語る

卒業会への想いを語る

卒業会への想いを語る

卒業会への想いを語る

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を

思い出に残る卒業会を



# 蔵王で白い青春を60回生スキー修学旅行

1月29日(月)から2月2日(金)まで、山形県の蔵王にて、60回生の修学旅行が行われた。天候にも恵まれ心に残る5日となった。(60回生共同取材)

## 1日目

1月29日(月)〜2月2日(金)にかけて、山形県蔵王にて60回生の修学旅行が行われた。1日目に最初に向かったのは蔵王体育館。入り口ではインストラクターさん方が拍手で迎えてくださった。体育館では開校式が行われ、部長を務めた串田昌也先生や蔵王ハイムスキースクール校長の岸宏さんからスキーに臨む60回生に向けての激励などが行われた。また、生徒代表の伊藤新太郎さん(2I)は「修学旅行楽しみましょう!」と修学旅行への楽しみを語った。

## 2日目

修学旅行2日目は、翌日に控える全山ツアーに備えてスキーの実力を伸ばすため、午前と午後合わせて四時間半ものスキー講習が各班に分かれて行われた。

初心者の班は初めてリフトに乗って一日よりも長い距離を滑り、着実に実力を伸ばした。経験者班は何本かリフトを降りながら、より高度な技術の習得を目指した。講習後の宿では疲れた様子の生徒も見られたが、思っていたよりも楽しめたという声も多く聞かれた。

## 3日目

修学旅行3日目は全山ツアーに赴いた。なれない板さばきも徐々に慣れ、リフトやケーブルカーを乗り継ぎ山頂を目指した。標高1300m付近にまで上ると奥羽山脈の峰々が堪能できた。そこから

緩急様々なコースを下り、山中のレストランやおしゃれなカフェに寄りながら、インストラクターさん達との交流を深めることができた。今年雪が少なく樹氷もそこまで成長していなかったが、1日目からの日本晴れが続き、雪のコンディションもよく滑りやすかった。

閉校式の最後には、インストラクター一人一人には記念品としてタンブラーが贈られ、インストラクターからは蔵王の記念シールのプレゼントが渡された。会場はインストラクターとの別れを惜しむ生徒で埋め尽くされていた。今回初めてスキーをしたというAさんは「今までスキーの経験がなかったので、とても緊張していたのですが、インストラクターさんの指導もあって、本当に楽しかったです。また機会があればスキーに行きたいです」と笑顔で話してくれました。

閉校式の最後には、インストラクター一人一人には記念品としてタンブラーが贈られ、インストラクターからは蔵王の記念シールのプレゼントが渡された。会場はインストラクターとの別れを惜しむ生徒で埋め尽くされていた。今回初めてスキーをしたというAさんは「今までスキーの経験がなかったので、とても緊張していたのですが、インストラクターさんの指導もあって、本当に楽しかったです。また機会があればスキーに行きたいです」と笑顔で話してくれました。

閉校式の最後には、インストラクター一人一人には記念品としてタンブラーが贈られ、インストラクターからは蔵王の記念シールのプレゼントが渡された。会場はインストラクターとの別れを惜しむ生徒で埋め尽くされていた。今回初めてスキーをしたというAさんは「今までスキーの経験がなかったので、とても緊張していたのですが、インストラクターさんの指導もあって、本当に楽しかったです。また機会があればスキーに行きたいです」と笑顔で話してくれました。

閉校式の最後には、インストラクター一人一人には記念品としてタンブラーが贈られ、インストラクターからは蔵王の記念シールのプレゼントが渡された。会場はインストラクターとの別れを惜しむ生徒で埋め尽くされていた。今回初めてスキーをしたというAさんは「今までスキーの経験がなかったので、とても緊張していたのですが、インストラクターさんの指導もあって、本当に楽しかったです。また機会があればスキーに行きたいです」と笑顔で話してくれました。

閉校式の最後には、インストラクター一人一人には記念品としてタンブラーが贈られ、インストラクターからは蔵王の記念シールのプレゼントが渡された。会場はインストラクターとの別れを惜しむ生徒で埋め尽くされていた。今回初めてスキーをしたというAさんは「今までスキーの経験がなかったので、とても緊張していたのですが、インストラクターさんの指導もあって、本当に楽しかったです。また機会があればスキーに行きたいです」と笑顔で話してくれました。



帰ってきた蔵王スキー旅行(学校HPから引用)



一面の雪景色が広がる中で、スキーを楽しむ60回生

## 5日目 コース別体験学習

### 味噌づくり

D・H・K・L組は味噌づくりを体験した。生徒一人一人に味噌を作るための材料やバケツ、手順書などが配布され、講師の方の説明に従いながら作業を進める。

途中の講師の方の話で、上手に作れば約一万円もの価値のある味噌が出来る聞き、一万円のお土産を持つて帰ろうと、さらに丁寧に味噌を作ろうとする生徒たちの様子が見られた。



丹精込めて味噌づくり

### 陶芸体験

A・B・F・G・I・J組の6クラスは陶芸体験を行った。作ったのは平清水焼という山形県伝統の焼き物だ。湯のみやお皿など様々なものを自由に作ることが出来る。

一人一つのひらサイズの粘土が渡され、講師の先生を手本としながら思い思いの形を作っていく。お皿の淵の形を作る際、無理やり手の力を使うのではなく少しずつ力加えることでお皿の厚さを均等にすることがよく見られた。



集中して作る(学校HPから引用)

### 和菓子作り

C・E組は和菓子作り体験。あんこは白や黄色、紫などがあり、水仙と菊の練り切りは全員共通で制作し、余ったあんこで好きなものを作った。

実際に体験したBさんは「あんこは粘土と似ており乾きやすいと言われ、いちいち水の布巾で手を濡らしてからあんこに触るのが楽しかったです」と話す。

また、職人さんが実際に使うような道具を使ったという「技法などがすごかったです」と興奮した様子で体験を振り返った。

### 4日目 レク

季節の里に宿泊したA・I組は、各ホームルーム委員を中心に合同でクラスレクを行った。レクの内容はクイズ大会、デイズニクイズや名前ランキングなど様々なクイズで盛り上がった。特に、先生クイズは大盛り上がり。

ホームルーム委員が作った質問をその場で先生が答えるという形式で、先生の初恋の人の部活や、初デートの場所など、普段は聞くことのできない先生の一面を、クイズを通して知ることができた。

最後には、全員に参加賞としてお菓子が配られ、クラスの壁を越えて楽しむことができた。

ランドセルを背負ってダンス!



賞品をかけた運命のじゃんけん



会を盛り上げる熱唱

# 卒業おめでとうございます! 卒祝会 graffiti

“フ口なんで”成功しました



3年生の大合唱



勝利の熱い抱擁!!